



“地域のことは地域で考えよう”

2014年5月28日

おきぎん県内景況・速報 2014年4月

**一県内景況は、拡大している—
但し、個人消費では、消費税増税に伴う
駆け込み需要の反動等による影響がみられる**

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。
百貨店売上高は前年同月を下回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年4月分)

◎2014年4月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

(但し、個人消費では、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等より弱めに推移している)

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を下回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが低調で、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。新車販売台数も消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

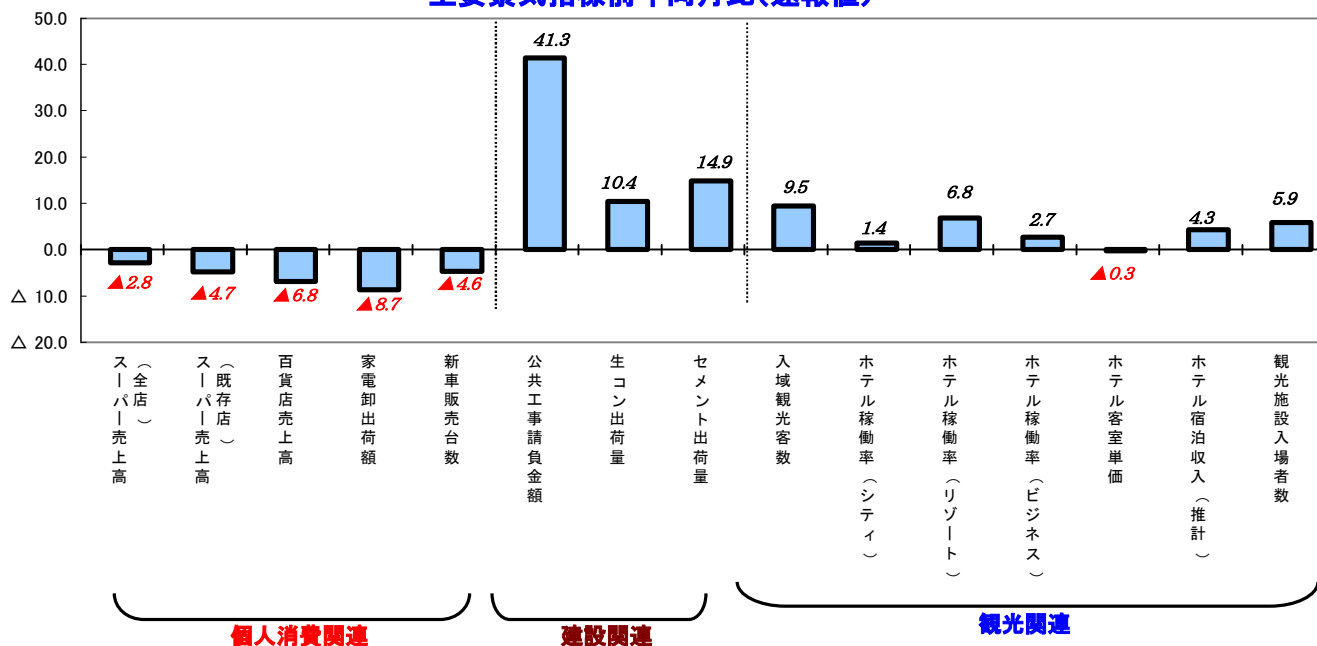
建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による大型工事などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は19ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動などから弱めに推移しているが、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから、「**県内景況は拡大している**」と景気判断を据え置きました。(2014年2月に上方修正後、据え置き)

主要景気指標前年同月比(速報値)

(単位: %、ポイント)





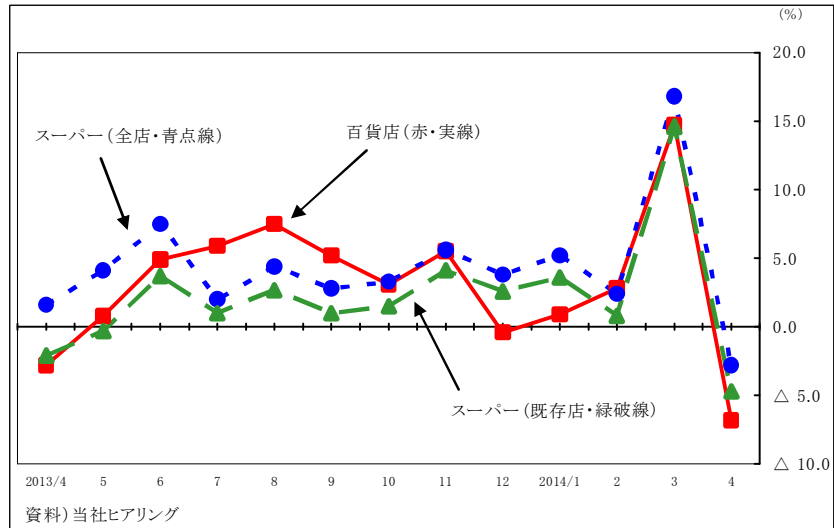
■個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を下回る。百貨店売上高も前年同月を下回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8

注)前年同月比



4月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比2.8%減)」が21ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などが見られ、ウェイトの高い「食料品(同1.8%減)」や「衣料品(同3.1%減)」、「家庭用品(同6.2%減)」が前年同月を下回りました。

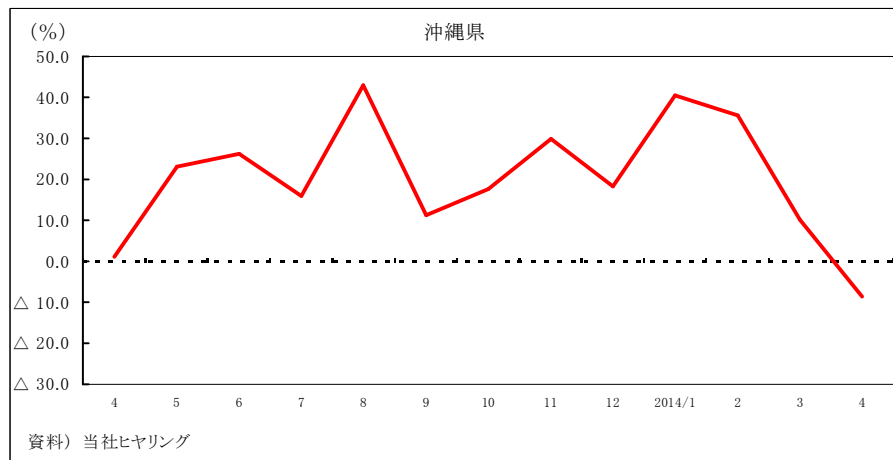
「既存店ベース(同4.7%減)」では11ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同4.4%減)」は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要(缶詰、レトルト食品、お米、油、調味料等)の反動減などにより売上高が減少し、前年同月を下回りました。「衣料品(同3.6%減)」は、昨年に比べ気温が高く天候に恵まれたことから夏物衣料の売れ行きが好調だったものの、消費税引き上げに伴う駆け込み需要(スーツ、肌着、靴下等)の反動減などの影響で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同6.2%減)」も消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減で白物家電(エアコン、冷蔵庫、洗濯機等)や日用品(ティッシュ、トイレトペーパー、シャンプー、化粧品等)の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、衣料品や雑貨の売れ行きが低調で、4ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同6.8%減)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同13.0%減)」は、中旬以降にテナント改装の集客効果により持ち直しが見られたものの、一部テナントの閉店などが影響し、主力商品の「婦人服(同12.8%減)」や「紳士服(同8.1%減)」が前年同月を下回りました。「雑貨(同9.2%減)」も、宝飾品・化粧品などが消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や催事の未開催などにより売上高が減少し前年同月を下回りました。一方、「身の回り品(同3.2%増)」は、観光客数の増加やテナント改装効果により来店客数が堅調に推移し、アクセサリーやブランド品などの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。「食料品(同3.9%増)」も、前半は消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が見られたものの、昨年10月に行った催事を今年は4月に開催したことなどから後半は持ち直し、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…消費税引上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回る。

単位:%	
沖縄県	
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7

(注)前年同月比



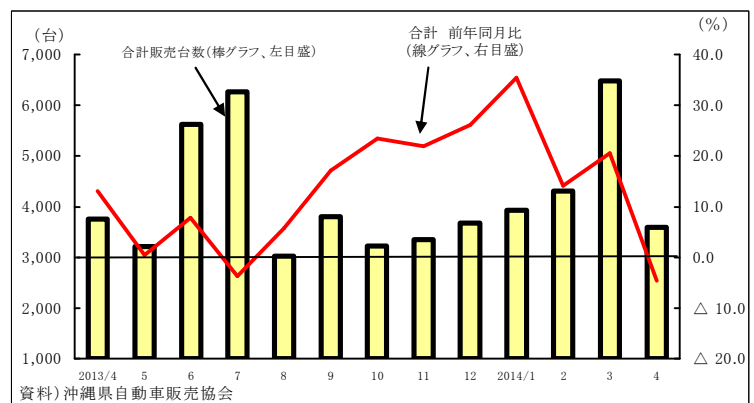
家電卸出荷額は、総じて消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減により、15 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました(同 8.7%減)。品目別でみると、「冷蔵庫(同 15.9%増)」、「エアコン(同 15.7%増)」は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の影響で出荷が 4 月にずれたことによる押し上げ効果が一部で見られ、前年同月を上回りました。一方、「洗濯機(同 10.5%減)」は同様の効果が見られたものの、入荷遅れの影響などから前年同月を下回りました。また、2013 年 8 月以降、需要が回復基調にあった「テレビ(同 15.2%減)」は消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減により、9 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。「太陽光パネル(同 8.9%減)」は、需要の落ち着き、固定買取価格引下げ、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより売上高が減少し、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回る。

単位:台、%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9

(注)前年同月比

(注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。



新車販売台数は、全体で 3,590 台となり、9 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました(同 4.6%減)。消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより「普通乗用車(同 12.9%減)」が 8 ヶ月ぶり、「小型乗用車(同 20.3%減)」が 2 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。一方、「軽乗用車(同 4.9%増)」は、低燃費や税負担の安さから堅調に推移し、9 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

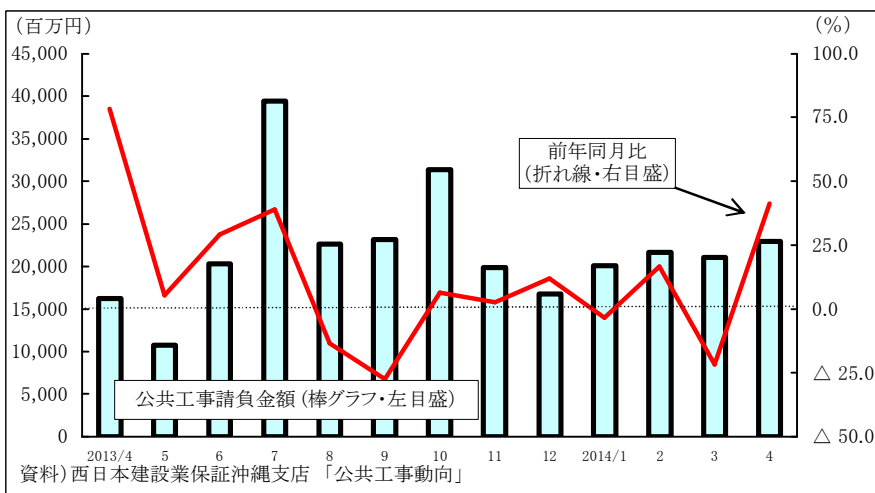


■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位: 百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/4	16,255	78.3
5	10,742	5.3
6	20,318	29.2
7	39,391	39.0
8	22,626	△13.4
9	23,182	△27.5
10	31,327	6.4
11	19,880	2.5
12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3



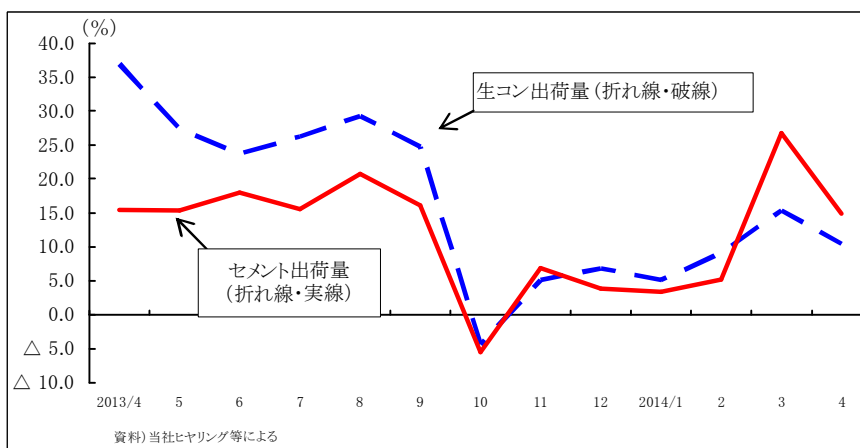
4月の公共工事請負金額は、前年同月比41.3%増の229億7,300万円となりました(2ヵ月ぶり増)。

発注者別でみると、「その他の公共的団体(同38.7%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同125.0%増)」は中城湾港土砂処分場関連工事、「独立行政法人等(同約7.4倍)」は沖縄自動車道高架橋関連工事、「沖縄県(同38.3%増)」は沖縄市にある総合運動公園関連の工事、「市町村(同40.9%増)」は小中学校関連工事などで上回り、全体を押し上げました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位: 前年同月比 (%)

	生コン	セメント
2013/4	36.9	15.4
5	27.4	15.3
6	23.7	18.0
7	26.2	15.6
8	29.3	20.7
9	24.7	16.1
10	△4.4	△5.5
11	5.1	6.9
12	6.8	3.8
2014/1	5.1	3.4
2	9.1	5.2
3	15.4	26.8
4	10.4	14.9

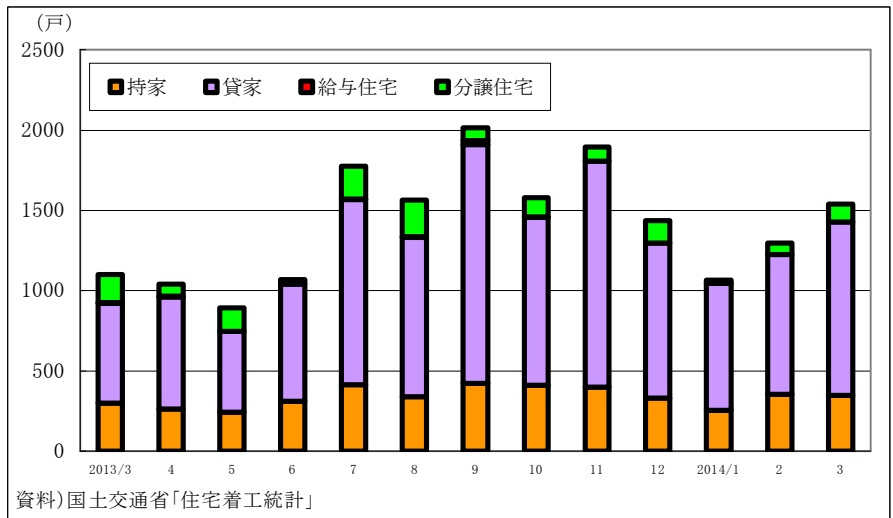


(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は10.4%増加し、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より4.1%増加し、民間工事向け出荷も13.5%増加しました。セメントの出荷量は14.9%増と6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(3月分) …着工戸数は前年同月を上回る。

	単位:戸、%	
	着工戸数	前年同月比
2013/3	1,103	51.1
4	1,041	△2.0
5	893	△23.3
6	1,068	11.9
7	1,777	32.2
8	1,565	28.8
9	2,014	72.4
10	1,580	29.2
11	1,895	60.1
12	1,437	49.5
2014/1	1,065	△1.7
2	1,298	11.7
3	1,540	39.6



新設住宅着工戸数(3月)は、全体で1,540戸となり、「分譲住宅(同39.1%減)」が前年同月を下回ったものの、ウエイトの高い「貸家(同73.7%増)」や「持家(同16.1%増)」などが全体を押し上げ、前年同月を39.6%上回りました。

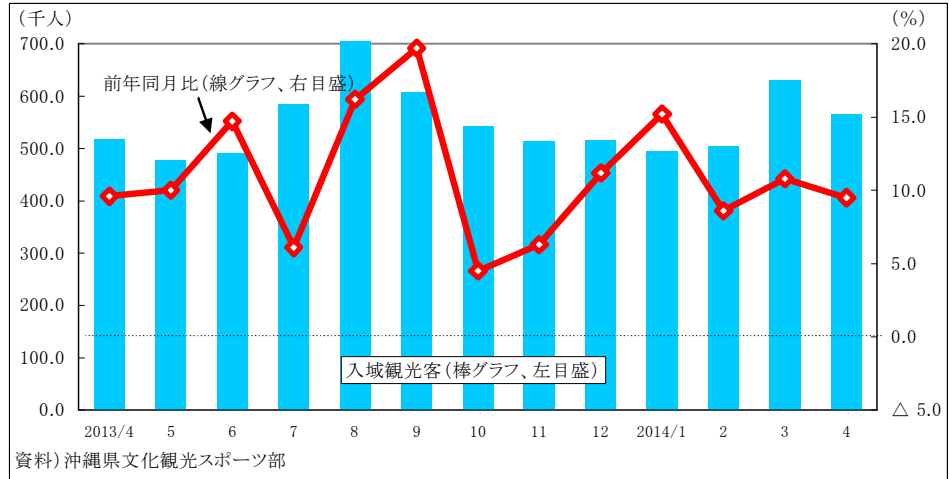


■観光関連： (良い)

①入域観光客数…19ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2013/4	516.3	9.6
5	477.6	10.0
6	489.1	14.7
7	583.9	6.1
8	705.5	16.2
9	607.4	19.7
10	543.0	4.5
11	513.6	6.3
12	515.5	11.2
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5



※外国客は特例上陸者数を含む

4月の入域観光客数は、49,300人多い565,600人(前年同月比9.5%増)となり、19ヵ月連続で前年同月を上回りました。(4月としては過去最高)

内訳をみると、「国内客(同5.4%増)」は491,700人と継続的なLCC・石垣路線の拡充などに新規就航(米子ー那覇路線)も加わり、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

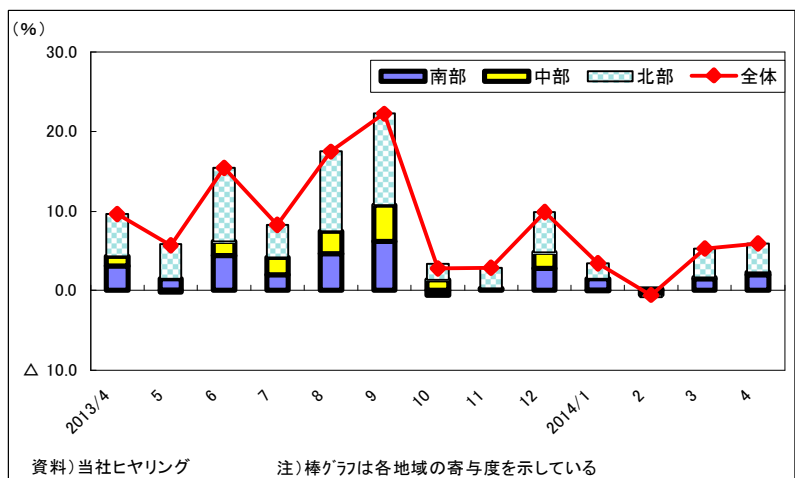
他方、「外国客(同48.1%増)」は、73,900人と9ヵ月連続で前年同月を上回りました。継続的な円安効果、航空路線の拡充、尖閣問題等で落ち込んだ前年の反動(中国客)などにより、各地域から増加しました。「台湾(同38.9%増)」「韓国(同133.3%増)」「中国本土(同40.0%増)」「香港(同46.6%増)」

※ 特例上陸者を除く2014年4月実績=全体554,800人(同10.1%増)、外国客63,100人(同67.8%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	5.9	5.2	1.7	7.8



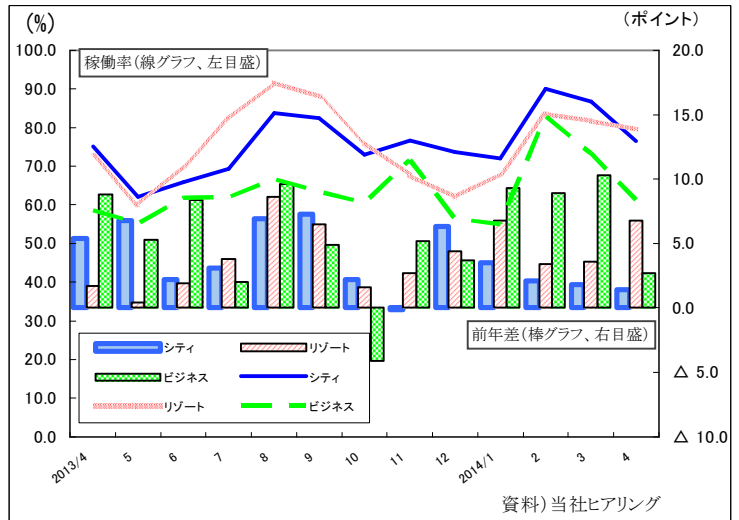
* 調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より5.9%増加(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同5.2%増と6ヵ月連続、中部は同1.7%増と2ヵ月連続、北部は同7.8%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/4	75.1	72.7	58.5	5.4	1.7	8.8
5	62.0	60.0	55.2	6.8	0.4	5.3
6	65.9	70.1	61.9	2.2	1.9	8.4
7	69.4	82.1	62.0	3.1	3.8	2.0
8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.8	2.7



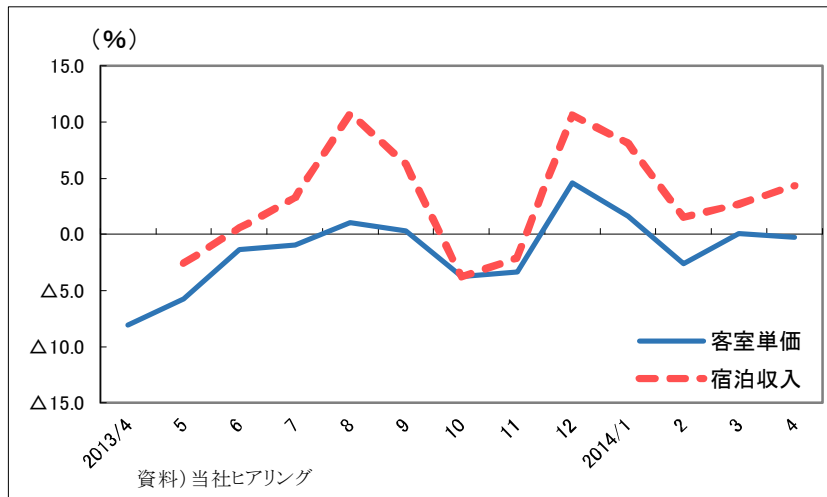
注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが76.5%と1.4ポイント上昇(5ヵ月連続)、リゾートホテルが79.5%と6.8ポイント上昇(16ヵ月連続)、ビジネスホテルが61.2%と2.7ポイント上昇(6ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は下回り、宿泊収入は上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/4	△8.1	—
5	△5.7	△2.6
6	△1.4	0.6
7	△1.0	3.2
8	1.0	10.8
9	0.3	6.3
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△0.3	4.3



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く
※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 0.3%減と前年同月を下回るものの、稼働率の上昇により宿泊収入は同 4.3%増と前年同月を上回る。

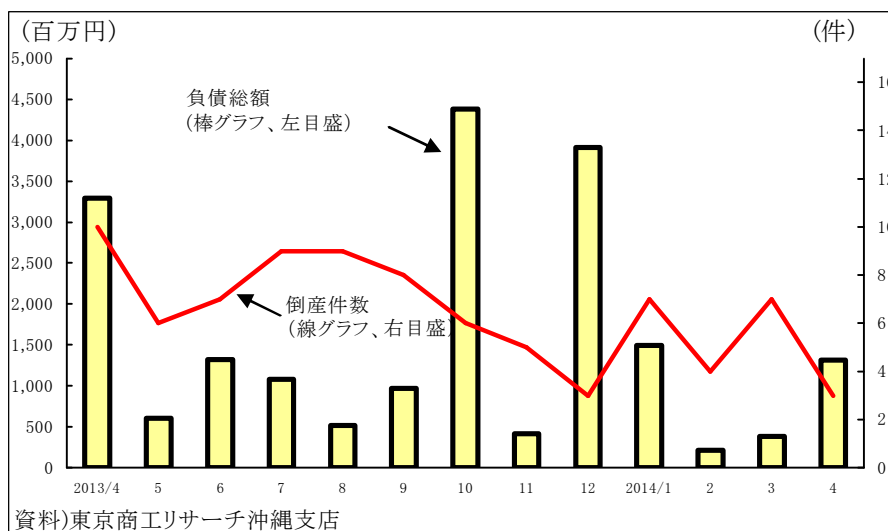


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額ともに前年同月を下回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2013/4	3,295	10
5	603	6
6	1,320	7
7	1,083	9
8	519	9
9	971	8
10	4,376	6
11	419	5
12	3,910	3
2014/1	1,492	7
2	214	4
3	386	7
4	1,314	3



4月の企業倒産件数は、3件(うち、10億円以上の大型倒産が1件、1億円以上の大口倒産0件)発生し前年同月を70.0%下回りました。また、負債総額は13億1,400万円と60.1%下回りました。

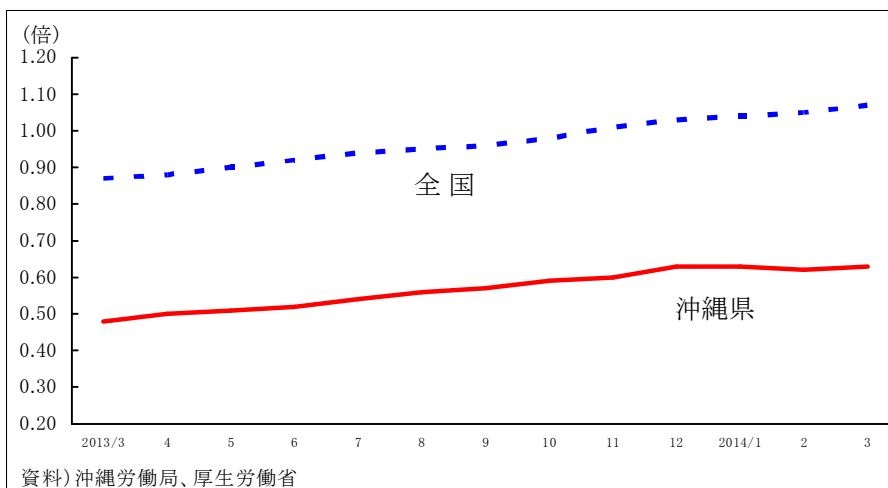


【参考】雇用関連: (ふつう)

①有効求人倍率…前月より上昇。

単位: 倍

	沖縄県	全国
2013/3	0.48	0.87
4	0.50	0.88
5	0.51	0.90
6	0.52	0.92
7	0.54	0.94
8	0.56	0.95
9	0.57	0.96
10	0.59	0.98
11	0.60	1.01
12	0.63	1.03
2014/1	0.63	1.04
2	0.62	1.05
3	0.63	1.07



注) 季節調整済

注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

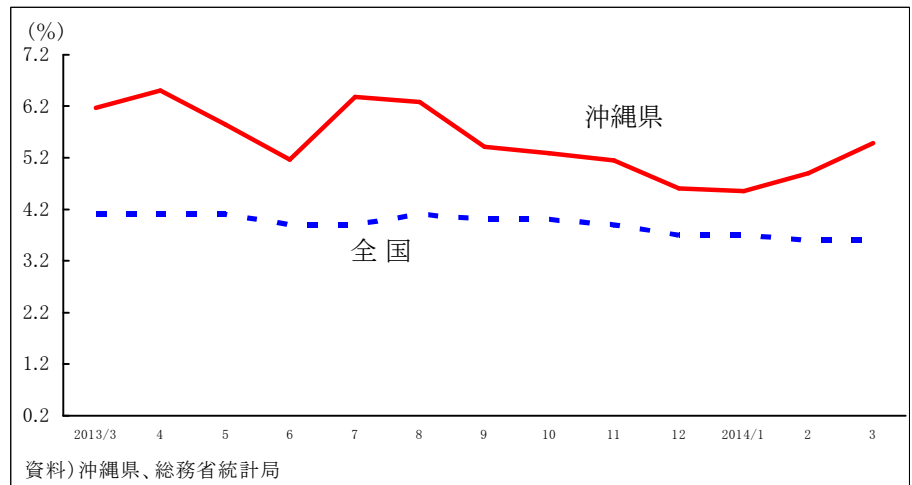
3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.3%減の19,316人に対して、月間有効求職者数(同上)は同1.4%減の30,831人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

② 完全失業率…前月より上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2013/3	6.2	4.1
4	6.5	4.1
5	5.8	4.1
6	5.2	3.9
7	6.4	3.9
8	6.3	4.1
9	5.4	4.0
10	5.3	4.0
11	5.2	3.9
12	4.6	3.7
2014/1	4.6	3.7
2	4.9	3.6
3	5.5	3.6

注) 季節調整済



3月の完全失業率(季節調整値)は、5.5%となり前月より0.6ポイント上昇しました。